



Vol.51 新春号
発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2-3
CiCビル3F 富山市民国際交流センター内
TEL (076) 444-0642 FAX (076) 444-0643
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代

と
ころ

マレーシア留学生協会

国際交流フェスティバル

INTERNATIONAL EXCHANGE FESTIVAL

in TOYAMA 2005

10月22日(土)PM1:00~PM5:00 23日(日)AM10:00~PM4:00
会場: CiCビル内/CiC前広場

主催 国際交流フェスティバル2005実行委員会
共催 JICA北陸/(財)とやま国際センター/富山市民国際交流協会
後援 富山県/富山市/(財)富山観光物産センター

あけまして おめでとうございます 富山市民国際交流協会

国際交流フェスティバル2005

場 所		22日(土)	23日(日)
C i c 前広場	ス テ ー ジ	開会式 世界の国からこんにちは、太極拳(とやま日中文化交流会)、二胡の演奏(歩歩の会)、やさしい気功法を体験しよう(とやま練功の会)、世界の歌(UFFA)、アンデス民謡(ウェイノ)、おもしろなぞなぞ広場(TCA日本語クラス)、人形劇(富山日豪ニューラント協会)	外国人カラオケ大会(勵とやま国際センター)、ナーサリーライム(英詩の発表)(勵ラボ国際交流センター)、中国歌・韓国歌(TCA中国語・ハングルクラス)、チンドン(チンドンまいどはや)、大正琴(穂の慕の会とみよちゃん)、中国の歌(富山・中国ネットワーク)、サンバ(TCAポルトガル語クラス)、リトルサンバ(しきのソル・ナセンテ)、沖縄民謡(土肥奈々)、ハワイアン・フラ(北日本カルチャー教室)、フォークソングコーラス(WHYランゲージソサイエティ)、おわら踊り(越中八尾おわら道場) 閉会式
	ブ ー ス	各国料理店、とやまの国際交流・協力団体大集合!、活動紹介、各国手芸品販売 など	
1 階	アトリウム	パネル展示(富山ユネスコ協会)、パネル展示(国連女性開発基金富山地域委員会ユニフェム富山)、ビルマ訪問報告(アジアの仲間たちの会)	
	交流広場	書道コーナー、民族衣装試着コーナー、折紙体験コーナー	書道コーナー、民族衣装試着コーナー、折紙体験コーナー、民族衣装ファッションショー
3 階	学習室(1・2・3)	英語表現コンテスト(日本国際連合協会富山県本部)	小中高校生のための国際交流(日本語教師会ゆうゆう)ほか
	学習室(5)	異文化理解講座、各国関連の展示(富山国際大学 国際教養学部)	
	音楽・映像室	第7回世界自然・野生生物映像祭受賞作品上映会(NPO法人地球映像ネットワーク)	第7回世界自然・野生生物映像祭受賞作品上映会(NPO法人地球映像ネットワーク)、韓国文化講座、「国連環境計画北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)」活動紹介 (UNEP NOWPAP RCU)
	会議室(1)	異文化理解ミニ講座(富山国際大学 国際教養学部)、日本語の教え方(日本語教師会ゆうゆう)、国際交流チャットコーナー(モザンビーク)(富山市民国際交流協会)	異文化理解ミニ講座(富山国際大学 国際教養学部)、国際交流チャットコーナー(メキシコ・ウズベキスタン他)(富山市民国際交流協会)、日本・富山生活文化クイズ大会(富山市民国際交流協会)
	会議室(2)	「国連環境計画北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)」展示紹介(UNEP NOWPAP RCU)、「津波チルドレン」展示紹介(NPO法人地球映像ネットワーク)、「ニューオリンズ ハリケーン「カトリーナ」」	
	会議室(3)	交流ルーム“休みに来られ”ーともだちの輪ー 話してみよう! 日本語・英語・中国語・フランス語	
5 階	多目的ホール	とやま国際交流草の根交流賞表彰式 国際協力県民シンポジウム(勵とやま国際センター)	国際理解まるとインドネシア (国際文化交流フェスティバル実行委員会)
	いきいきKAN	体験コーナー(そば打ち)	体験コーナー(ガラス工芸トンボ玉)

「国際交流フェスティバル2005」は、小川 弘 実行委員長の開会宣言で始まりました。このフェスティバルは、国際交流・協力団体及び関係者等の参加と協力により、各種の催事を実施し、外国人との交流を図るとともに、関係団体の日頃の活動状況及び情報を広く啓発することを目的に開催されました。そして、これらの催事を通して地域国際化の状況や多様な異文化に対する来場者の理解と交流を深めることができました。

今年は、会場作りや催事内容など昨年のいろいろな課題を反省し、工夫して、野外ステージやブース、室内の各会場は、大勢の人たちで賑わい、楽しく交流し親善を深めました。

Heart to Heart

「国際交流フェスティバル2005」のポスターは、黒地に白字の「心」と「ところ」が「赤いハート」をとおしてピンクの糸で結ばれています。人と人のつながりを、心とところの付き合いを、糸は「平和を願う糸」の意味合いで、作者からのメッセージです。



フェスティバルの会場では、来場者に「赤いハートの付いたピンクのリボンを結び、心とところの付き合いを、そして、みんなで世界中の平和と安全を願いましょう。」と手首に結んでもらいました。



交流ルーム “休みに来られ”ともだちの輪 話してみよう!



日本・富山 生活文化クイズ大会



折り紙体験コーナー



書道コーナー

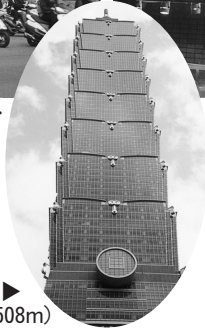
なごみの「台湾」



街はオートバイでいっぱい…
台北通り？
自転車がいっぱいは、
北京通り？



アレッ、これって何？
コンビニエンスストアです。
台湾にもコンビニがたくさんありました。



台北101購物中心 ▶
世界一高いビル (508m)



中正紀念堂 蒋介石の誕生日が祝われて…
蒋介石は本名を蔣中正といいます。



日僑台日文化交流会の皆さんと日本の歌を
大合唱。和やかで賑やかな交流会でした。



亜東関係協会訪問

平成17年度の海外研修は、10月29日から11月2日までの日程で「なごみ台湾 4泊5日の旅」を実施しました。

団員25人は、中部国際空港から台北に向い、台北から高雄へと、初日は終日空の旅となりました。

第2日目は、高雄からバスで台南を経由して台中へ。観光地を視察しました。

第3日目は、台北市へ。老人福祉施設（双連養老院）を訪問。夜は、日僑台日文化交流会の皆さんと交流。元日本の少年航空兵の方も出席され、歌やおわら節で友好を深めました。

第4日目は、亜東関係協会を訪問。羅所長を交えて、日・台の経済・文化・観光などについて意見交換、富山の良さをアピールし今後の交流促進を確認しました。

最終日は、まっしぐらに富山へ。午後9時 無事に到着しました。

今回の研修で、日中国交回復以来、日台関係が断絶したが、今もなお日本との関係発展に意欲を持っている台湾人の思いが感じられました。

姉妹友好都市委員長 梅澤信義

秦皇島市実務協議団来富

張 立起 外事弁公室副主任を団長とする一行3名が富山市を訪問されました。

当協会の方も表敬訪問され、業務内容や今後の交流のあり方等について、梅澤姉妹友好都市委員長等と懇談し、今後、一層の交流を深めることを確認しました。



張団長(中央)らと

11月29日 当センター

秦皇島市日本語研修生受入れ

張 曉鐘 商務局副科長は、平成17年9月28日～平成18年2月23日の日程で、富山市（実務実習）、富山大学（日本語講座、地域社会学、経済入門）、富山市民国際交流協会（業務実習）で研修のため、富山市に滞在されます。当協会では、10月17日に歓迎会を催しました。

特別講演会「最近の台湾事情」

講師 さいはいくん 蔡 佩君氏（富山大学大学院経済学研究科企業経営専攻）



台湾は沖縄本島から西南西の方角、約600kmほどのところにあります。豊かな自然と文化に恵まれ、美しい自然と生態を守るために、6つの国家指定公園としての国家指定の風景地域が設置され、そこに台湾で最も美しい自然と景勝地が集中しています。世界三大登山

鉄道のトロッキに乗って山間を抜け、阿里山日出や雲海を見たり、東北アジアの最高峰玉山登山も楽しめます。日月潭は山間に輝く真珠のようであり、湖と山が絶妙にとけあっています。豊かな地方色や文化的な史跡を残し独特の風情を見せてくれる台湾はさまざまな魅力にあふれているのです。

今回の特別講演会は、海外研修「なごみの台湾」旅行の参加者には事前研修となるので、講師のお話の後に気温、服装、治安、通貨など最近の台湾について質問が続きました。

ディスカバー富山

留学生や富山在住の外国人をゲストに、バスで近郊の名所や文化施設などを訪ねました。

まず、長慶寺では座禅体験で深遠な形而上世界に遊び、住職の案内で五百羅漢を巡り、菩提樹の元でお釈迦様の悟りに思いをはせました。民俗民芸村では、今年から採用したマンツーマン形式で、日本人と外国人が一对一で客とガイドになり、各博物館をまわりました。また、昼食は和食で、石倉延命地蔵では名水を味わったり、CiCでおわら踊りも楽しんだり日本文化を満喫し、充実した一日でした。



10月1日 民俗民芸村

多国言語文化交流クラス

中国語&日本語

11月5日

～学習者の立場から見たその相違点～

講師 郭 明輝氏

中国語にはたくさんの方言があります。北方方言は「官語」と呼ばれ標準語の基礎となっていて、70%以上の人と話しているといわれています。漢字が同じと言いつつも、中国語と日本語は語系上ではまったく違う言語であり、2つの言語は遠い親戚なのか、赤の他人なのかと常に考えるようになるくらいです。中国語と日本語の相違点として、①発音、②文法、③書き方、④意味、⑤表現などがあり、そのためまったく通じなかったり、誤解が生じたりすることがあります。



「湯」と言ったら、日本では「あたたかい水」のことですが、中国では「スープ」のことです。また、元気そうですね、忙しいそうですね、おいしそうですね、は、～そうの格好をしているのじゃないの、と、日本の「たてまえのことば」は中国では「皮肉のニュアンス」にとられてしまうそうです。事故に遭わないように、風邪を引かないように、縁起の悪い言葉になるそうです。

講師は、「中国語と日本語の違いを一緒に考えて、異文化の比較に興味をもち、再認識し合うことで『知己知彼、百戦不殆』（相手を知り己を知らば百戦危うからず）」という相乗効果が出るかもしれません。」と、話されました。

フィンランド&フィンランド語

12月3日

講師 Jukka-Pekka Louneva氏(富山大学高岡短期大学部留学生)
Janne Asikainen氏(富山大学高岡短期大学部留学生)
Lari Yltio氏(YFU交換留学生(富山南高校))

フィンランドというと、夏の夜の「ミッド・ナイト・サン(真夜中の太陽)」と、冬の太陽が昇らない「カーモス(極夜)」、美しいオーロラ、そして、サンタクロースを思い浮かべます。



フィンランド語は、ウラル語族の一つで、ハンガリー語と遠い親戚の関係にあります。キリスト教国のフィンランドでは、クリスマスは一番のイベントで、シーズンの初めにオープニングパレードがあります。最近では、伝統的なものにいろいろな国のイベントがミックスされたものになってきていますが、特別なクッキーを焼き、ハムをよく食べます。

3人の留学生は、それぞれ役割分担をしてジョークと映像を交えながら楽しく話し、サンタの国が身近なものに感じられました。

英語スピーチと討論の会(ESD)

10月例会 10月11日 18:30~20:00

テーマ 「New Orleans, Louisiana: History, Culture, and Hurricane Katrina」
講師 布谷クリスティーナ氏

私は、ニューオーリンズ州で生まれ、インディアナ州に移住し、祖父母は今もニューオーリンズにいます。

ニューオーリンズは「ジャズの生まれ故郷」とか「Crescent City…三日月型の都市」などと呼ばれ、Crescentというのは、ミシシッピ川に沿って湾曲した形に街が出来ているところからきているのです。

人種の70%は黒人で23%が白人、アジア系が2.2%のほか、ケージアンと呼ばれるフランス、カナダ系、ヒスパニックなどで構成されています。

かなりの土地が海拔ゼロメートル以下であり、今回のハリケーンでは、堤防が決壊したことから市街地区の80%が洪水となり、大きな被害が出ました。ハリケーン「カトリナ」は、西半球で最も破壊的なカテゴリー5というレベルの強いもので、アメリカの歴史上最も大きなものでした。

参加者たちは、被害に遭った人々へ衷心よりお見舞いと同情の気持ちを伝え、また、「ジャズ」に心馳せたりして興味いっぱいに真剣に聞き入っていました。



11月例会 11月29日 18:30~20:00

テーマ 「EGYPT...Ancient Treasures」
スピーカー Prof.Dr.A-Fattah GABER氏 (Assiut University EGYPT.)

古代エジプト文明の遺産が国の誇りで、5000年前の遺跡を今に残し、考古学者の憧れの的。スフィンクスや国立エジプト博物館にある多くの古代像、そしてルクソールやカルナーク神殿の柱の彫刻等がキリストが生まれるはるか以前の文明を物語っています。高さ30mに及ぶオベリスクがたった一枚の岩からできており、しかも何千年もの間倒れずに立ち続けているという事実や、小さな神殿と名づけられた遺跡が実は何10メートルの高さを持っていたりすることは、驚き以外の何物でもありません。

勿論、地下鉄、遊園地、高層ビル、エジプトタワーなどの21世紀の文明もあります。中でも、6,690kmの長さを誇る世界の大河、ナイル川の上流に作られたアスワンハイダムはそれひとつでエジプト一国の電力をまかなえるほどの巨大さで訪れる人々を圧倒します。

これらの講話・座談・討論などすべて英語で行なわれました。



料理交流会「メキシコの家庭料理」



講師

ラウラ・ルス・ガルシア・
ガルシア氏

11月29日
おくだこうみんかん
奥田公民館

メニュー

チキンファヒタ (とり肉、ソーセージ、ピーマン3色、ねぎ、チーズ)
ワカモーレ (アボガド、トマトのディップ)
フルーツカクテル (フルーツ入りヨーグルト)

「チキンファヒタは、ごはんやパンにも合うしっかりした味付けで、ピーマンが嫌いな人にもOKです。ワカモーレは、さっぱりとしたレモン味でこれだけでも一品の料理でおいしいですよ。」

ラウラさんの明るい声で調理室はたのしく賑やかでした。

年忘れパーティー



ヤッター！ ビンゴ！

12月18日 当センター

今年一番の寒い雪の日でしたが、8カ国51人の外国の 사람들이参加しました。西年の納めに、とり弁当と会員たち手作りの年越しソバを食べながら、自国の年越し紹介や、ビンゴゲームなどで楽しく交流しました。

ボランティア養成講座

「災害の備えが町をすみよくする」

講師 富山市災害ボランティアネットワーク会議会長
財富山YMCA総主事 島田 茂氏



10月4日
当センター

近年、地震、台風、水害、津波などによる災害が各地で多発しております。

身近なところでは、昨年10月20日、台風23号による富山市五福、神明、桜谷各地区での水害、10月23日には新潟県の「中越地震」、12月末のスマトラ沖地震と津波。そして、アメリカでの「カトリナ」やパキスタン地震などと、災害はいつ、どこで起るか予測が付きません。

災害ボランティアと言うと、国際協力（NGO）を考えますが、阪神淡路大震災が起きた1995年1月17日は、日本のNGO元年と言われていました。富山市では、平常時からの関係団体の連携強化などを目的とした「富山市災害ボランティアネットワーク会議」が平成15年7月に設置されました。

ネットワークは、日頃からの顔の見える関係で、日常のよい関係は災害時につながります。災害ボランティアは連携して協力して行くことが大切であり、お互いに「ありがとうの気持ち」が伝わることです。…と。

そして、最後にボランティアに対するボランティア保険についても話をされました。

ボランティア委員会

日本伝統文化の紹介「茶道」



講師 かめだふみこ氏
亀田文子氏

11月13日
ごばんまちこうみんかん
五番町公民館

ネパール、オーストラリア、中国など、富山在住の外国人のたち10人が参加しました。

5人ずつが向い合って座り、客と主人役に別れて、点前や作法を先生から習い、みんな真剣な面持ちでした。最後にお別れのあいさつも正座で手をついて、しとやかに行いました。

参加者たちは、足がしびれて立てなくなってしまうましたが、日本の伝統文化に触れたことに満足して喜んでいました。

もっと知ろう世界の街「台湾」



講師 はっとりまさこ氏
服部雅子氏
(鄭雅之)

11月27日
当センター

「台湾は、飛行機で2時間と近い国です。漢民族が98%、先住民が2%です。戦前、50余年もの間日本に統治されていたので、日本語を話せる人がたくさんいます。10～3月の良い時期にぜひ台湾へ来て下さい。」…と。そして、烏龍茶や中国料理、果物など食生活を中心に「おいしい台湾。」を案内されました。

文化交流委員会

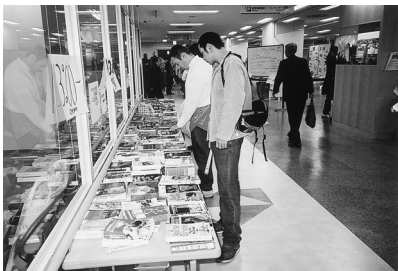
お知らせ

お申し込み・お問合せは当協会まで
TEL 076(444)0642 FAX 076(444)0643

行 事	日 時	と ころ	担当委員会	会 費	対 象
海外研修台湾報告展	1月10日(火)～14日(土)	当センター	姉妹友好都市	無料	会員・一般
英語スピーチと討論の会例会	1月10日(火) 18:30～20:00	当センター	国際教養	無料	会員・一般
新春国際交流のつどい2006	1月14日(土) 14:00～16:00	CiC多目的ホール	ボランティア	外国人 500円 日本人 1,500円	外国人・会員
富山大学留学生ホームビジット	1月21日(土) 10:00～17:00	—	ボランティア	—	—
国際交流TCAカレッジ テーマ 「日本の出入国管理政策について」 講 師 名古屋入国管理局富山出張所長 片桐 秀昭氏	2月17日(金)～18日(土)	富山観光ホテル	総務企画	8,000円(予定)	会員
料理教室	2月16日(木) 10:30～13:00	奥田公民館	ボランティア	300円	外国人
折り紙教室	2月19日(日) 13:30～15:00	当センター	文化交流	無料	外国人
もっと知ろう世界の街「フランス」	3月12日(日) 13:30～15:00	当センター	文化交流	無料	会員

募金

あなたのやさしさを！ パキスタン地震救援募金活動



当協会では、パキスタン地震の報道の直後から被災者支援の募金活動を実施してまいりました。幸い当協会に出入りする外国人や、日本語の講座等に参加しているパキスタン人の家族の方で被害にあわれた方がなかったと聞いて少しホッとしております。

富山県には、多くのパキスタン人が在住しており、彼らが自国の復興のために募金活動をしている様子は、ニュースでも度々報道されています。

国際交流フェスティバル2005の開催期間中は、参加者や市民の人達に募金を呼び掛けたり、富山市民国際交流協会の図書コーナーの不要になった本をテーブルに並べて1冊10円以上の募金をしてもらいました。開始の前から人が集まって本を選んでいく姿も見られ、募金活動は好調でした。

11月13日には、富山市災害ボランティアネットワーク会議の会員として街頭募金活動に参加しました。

また、協会の窓口にも、アメリカ合衆国のハリケーン「カトリーナ」災害救援金や、宮崎県の台風14号被害義援金の募金箱も設置してまいりました。皆様からの「やさしさ」の募金は、救援金、義援金として(財)日本ユニセフ協会に寄託いたしました。

新設

姉妹友好都市「ウェリントン」コーナー

国際交流センター姉妹友好都市コーナーに「モジ・ダス・クルーゼス」、「秦皇島」、「ダーラム」コーナーに加えて、新たに「ウェリントン」コーナーが設置されました。

ウェリントンは、旧大沢野町が姉妹都市締結していたものを、新富山市発足とともに引継がれました。

ウェリントンは、オーストラリアニューサウスウェールズ州の人口約1万人の都市です。

終了

「災害ボランティア(語学-英語)講座」

平成17年度新規事業として6月11日から全10回シリーズで開講された講座は、12月10日で終了しました。

平成18年度は「災害ボランティア(語学-中国語)講座」が予定されております。

募集

…あなたも登録を…「災害ボランティア活動参加者」

富山在住の外国人が、災害に遭遇したときの生活支援を目的に「災害ボランティア活動参加者」を登録し、必要に応じて活動していただくことを考えております。

ボランティア保険については、協会の方で加入します。

編集後記

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成17年度海外研修「なごみの台湾」旅行に参加しました。

FORMOSA(美しい島)と呼ばれる台湾は、豊かな自然、古都、歴史、文化、おしゃれな近代都市まで魅力がいっぱいでした。

福祉施設「双連安養中心」を訪ねました。80才前後の3人の方々が流暢な日本語でわかり易く通訳をして下さいました。林廖美容さんとお話をしました。「両親は、日本の学校の教師でした。私も女学校まで日本の学校に通いました。あの頃は…」と当時の台湾のことを思い出しながらいろいろ話して下さいました。

国際交流関係施設を訪問したり、日僑台日文化交流会の方々と交流しました。日本に留学していた人や、元日本少年航空兵の方たちも出席されて、日本の歌と一緒に歌ったり、懇談したり和やかに親善を深めました。

「今日、日本の方々とお目にかかれてうれしい!」「激動の時代を生きて来ました。みんながそうだったのですからねえ…」「戦争は絶対にダメですよええ。」それぞれたくさんの悲しみを秘めて、やさしい笑顔で穏やかにおっしゃいました。今回の海外研修でいくつもの感動をもらいました。

これからも私たちは、みんなの幸せを、世界の平和と安全を願って、草の根の交流からお互いの心に種を蒔き、芽を育てていくことが大切であることを伝えていきたいですね。

広報委員長 岡田昌代